

社会福祉法人 京都光彩の会

# 光彩だより 令和7年1月号

## 今月のもくじ



### 2024年の振り返り

朱雀工房

なごやかサロン

西山高原工作所

グループホーム賀陽・山ノ内・光



### 法人WEBサイトリニューアル



### 後援会のお礼

## 巻頭言

### 「心にアース線を」

私たちは、心にさまざまな「しこり」、「こだわり」、「傷」、「受け入れられないもの」を抱えて生きています。それを相手に投げかけて人間関係をつくっています。なかでも乳幼児期に形成された感情パターンを相手に移すことを感情転移と言い、それに反応し返すことを逆転移と言います。

対人援助の専門職が特に心掛けねばならないことは、力を誇示して支配しようとしてくる相手に「力比べ」を仕掛けないこと、ネガティブな感情で接してくる人に「感情の対抗」を抑制できることです。この自覚と制御が、難しいのです。

哲学者の鷲田清一が、ある精神科医の説として推奨しているのは、心に「アース線」を持つことです。雷が落ちたときに、洗濯機にアース線が付いていると、雷電は地面に逃げていきます。それと同じ原理です。相手に雷を落とし返すのではなく、大地に逃がすのです。では大地は、何に当るのでしょうか。それは、人それぞれに、慈愛に満ちた祖母の笑顔であったり、罪を贖う十字架上のイエスであったり、全生命を救う阿弥陀仏の願いであったりするのでしょうか。私にとっては、私の未熟ゆえ苦難を負わせたある患者の面影です。

職員間でも、ネガティブな感情表明は、周囲にネガティブな感情しか生みだしません。心にアース線をもって、ポジティブな表現力で利用者や職員相互と接したいものです。

社会福祉法人 京都光彩の会

理事長 加藤 博史

## 地域交流

### ミレニアムライオンズクラブ 高瀬川清掃活動報告

10月13日、今年もミレニアム・ライオンズクラブの桂川清掃活動に参加させて頂きました。

嵐山公園中之島地区を中心に清掃作業に取り組んだあと、バーベキューでの食事を楽しむことができました。

ライオンズクラブの皆様の細やかなお心遣いに深謝致します。



# 2024年の振り返り

## 朱雀工房



京都市朱雀工房卒業生 和田悠花さんにインタビュー（社会福祉法人 浩照会 特別養護老人ホームあじさい苑 介護補助員）

ー和田さんは二〇二二年十月、朱雀工房の事業所説明会に参加され、体験利用を経て通所されることになり、利用開始からちょうど一年で就職されました。説明会に参加して下さった動機を聞かせてください。

✿和田さんー京都大学医学部附属病院のデイケアに週三回通い、茶話会でいろいろな人と話したり、リースやコースターをつくったり、音楽を楽しんだりしていたのですが、「もう一度働きたい」「支援学校を卒業してからずっと同じ仕事（総合病院で検査検体を別棟に運ぶ仕事）をしてきた。（他に）自分にできる仕事、合った仕事がないかなあ」と考えるようになり、その頃、週に一回お世話になっていた訪問看護師の方に朱雀工房を紹介して頂き、体験利用し、母や看護師さんと一緒に考えて、最終的には自分で判断して通所を決めました。

ー朱雀工房では、所内での様々な作業のほか、施設外での活動や地域イベントへの出店にも参加して下さいました。印象に残っていることを教えてください。

✿和田さんー西新道錦会商店街での配食事業（※二〇二四年三月終了）です。最初はお客様に届ける道順を覚えるのが大変でしたが、目印を見つけて覚えられました。お弁当に添える味噌汁を秤で計って重さを揃える、お客様からのお金の遣り取りを、「千円を出されたらおつりはいくら？」と確認するなど、まず、職員さんと配達の準備をしました。それから、味噌汁を運ぶ人と二人でペアになって、お弁当を運びました。最初はできなかったあとと不安があったのですが、職員さんが見守ってくださり安心してできるようになりました。こぼさずにお玉でお味噌汁をお椀に入れたり、お客様からお礼を頂けるようになりました。

ーしようながい者就業・生活支援センターはあとふるアイリスや、京都ジョブパークはあとふるコーナーの就労準備セミナー（JPはあとふるカレッジ）も利用していましたね。

✿和田さんー朱雀工房を利用し始めてからも、「どんな仕事ができるのか」「どんな仕事が自分に合っているのかわからない」という思いが続いていまし

た。はあとふるアイリスの所長さんと毎月面談して頂き、同じ京都テルサにある京都ジョブパークでは、PCの講座などを受講しました。最初は職員さんと一緒にいきしましたが、自分で電話予約して利用するようになりました。そして、高齢者の方の事業所で配食や配膳の仕事ならできるのではないかと考えるようになりました。

ー上京区のデイサービスセンターで一週間体験実習されましたね。

✿和田さんー利用者の方と一緒にボール送りなどのレクリエーションを楽しんだり、配茶・配膳、見守りなどを体験しました。利用者の方の笑顔が明るく、職員の方にも大変よくして頂きました。実習の振り返りをしたときに、職員の方から「送りの準備などで職員が忙しくしているときに、和田さんが認知症を抱える利用者さんの傍で話を聴いてくれていた」と言ってもらえ、利用者の方から「また、来てね」と声を掛けて頂きました。

ーそれからハローワーク伏見で紹介頂いた社会福祉法人浩照会の特別養護老人ホームと介護老人保健施設を見学させて頂き、両方で体験実習されましたね。

✿和田さんー特養と老健では、職員さん

の利用者さんへの接し方が違っていて、穏やかな特養の方が自分に合っていると思いい、特養に応募させて頂くことを自分で決めて採用頂くことができました。

―あじさい苑ではどんなお仕事をしておられますか？また、今後の抱負を教えてください。

🌸 和田さん―ふたつのユニットで、ゴミ出し、居室のお掃除、リネン庫のおむつの補充、昼食の配膳、洗濯物の整理と居室へのお届け、さらに最近はシート交換にも取り組み、ひとりですることができるようになりました。こうしたお仕事のほか、毎月の喫茶レクレーションでは、ユニットのある四階から一階まで、職員の方に見守って頂きながら車いすでの移動を手伝ったり、歌詞カードを見て頂きながら利用者さんと一緒に歌を歌ったりします。いつも担当しているユニットとは違うユニットの利用者さんから、「話を聞いてもらって有難う」と言ってくれて、こちらも嬉しかったです。今年はいじめて、敬老の日のお祭りにも参加させて頂くことができました。働き始めた頃は、一日にひとつのユニットの作業を担当したのですが、「何時にはこの作業を」という仕事の流れがわかってきて、今は一日にふたつのユニットの仕事をこなせるようになりました。職員の方から、「和田さんは、ちゃんとあいさつができるとうるやまがよいと思います」との言葉を頂いたとき

はとてもうれしかったです。

これから先もあじさい苑でお仕事を続けて、利用者さんとかかわり、利用者さんに困ったことがあったら職員さんにすぐに伝えて、職員さんと共有しながら頑張っていきたい。少しでも利用者さんに楽しく、気持ちよく過ごしてもらいたいです。



―最後に、一般就労をめざしている方にアドバイスをお願いします。

🌸 和田さん―最初は不安とか、ドキドキすることがあると思いますが、だんだん慣れてきたら仕事のやりがいとか楽しいことが増えていくと思うので、体験実習とかも頑張ってみようと思います。それから、職場でつらいことや大変なことがあったときに、相談して一緒に考えてもらえる職場に出会えるといいと思います。以前の職場では相談できる方がいませんでした。今の職場では、「何かあったら僕に直接言ってくれたら」と声を掛けて下さる方もいてくださり、すぐに相談できるのが有難いです。

## 合唱団グラスお疲れ様会



なごやかサロンが開所された当初（一九九七年頃）から合唱団グラスの活動を続けてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに活動を休止することとなり、団員の減少等の事情も重なったため、令和六年度を持って一旦活動に区切りをつけることとなりました。九月二十一日に行った会では、講師の先生や団員、ボランティアの方々と思い出話を花を咲かせたり、馴染みの曲を合唱したりして楽しい時間をもつことができました。

今後は、年一回程度の頻度となりますが、集まった人たちが歌を歌う機会をつくることとなりました。興味のある方は、サロンの行事予定をチェックしておいてください。



## 西山高原工作所

### 統合してからの様子

二〇二四年十月より西山高原工作所はかれん工房と統合し、新事業所(名称は未定)となりました。思えば六月にかれん工房の方と親睦会で職員利用者が顔合わせしてから、あっという間に十月になりました。九月下旬から荷物の搬入をし、荷物整理も仮置き状態で新事業所がスタート。初日はみんなの顔に「緊張しますよ」の札が貼ってあり(笑)、どこか西山とかれんの間に目に見えないバリアみたいなものがありました…。

そんな中、職員はお互いが早く馴染める様に積極的に挨拶をしに行ったり、利用者さん同士の仲介人としてコミュニケーションが円滑に行えるように声掛けをしております。時間が過ぎるのは早いもので二週間がまるで昨日の出来事のように感じます。今、利用者さんの様子はどうなっているかというとチラホラ西山とかれんの利用者さんで隣の席同士でお話したり、職員に「〇〇さんはいつ来られ

る方なんですか？」と質問するなど少しずつ確実に距離が縮まっております。建物への収容人数が大幅に増えて、「窮屈にならへんか」と言った声もありましたが、いざ始まってみるとそんなに圧迫感はなく「色々な人と会話が出来て楽しい」、「同性の利用者さんが増えて過ごしやすくなった」といった前向きな感想が続出しております！

これからも利用者さんに愛されるような、素敵な新事業所にしていきますので沢山の応援よろしくお願いします。



## グループホーム 賀陽山ノ内光

### グループホーム賀陽の 二十五周年祭を行いました！

グループホーム賀陽は二〇二四年で開設二十五周年を迎えました。毎年グループホーム賀陽で開催していた周年祭ですが、今年度は二十五周年という節目の年でもあり、グループホーム賀陽・山ノ内・光の三つのグループホーム合同でお祝いをしました。

現在入居中の方はもちろん、OB・OGの皆さんや、各グループホームの皆さん、これまで関わってくださった職員の方々をお招きし、今年は十八名の参加となりました。

クイズコーナーでは、グループホームにまつわる問題を中心に問題しました。どのチームも和気あいあいと相談しながら参加してくださり、皆さんの真剣な姿が印象的です。

その後はみんなでお菓子を食べながら、スライドショーを見て今までのことを振り返り「〇〇に行ったのが楽しかったなあ」という声が聴こえてくるなど、終始なごやかな空気が流れていました。



# 法人WEBサイトをリニューアルしました！！

## トップページ



この度11月1日より法人のWEBサイトを  
リニューアルしました！

法人の魅力をより分かりやすくお伝え  
できるサイトになったかと思います。

こちらのQRコードを読み込んで  
ぜひご覧ください！



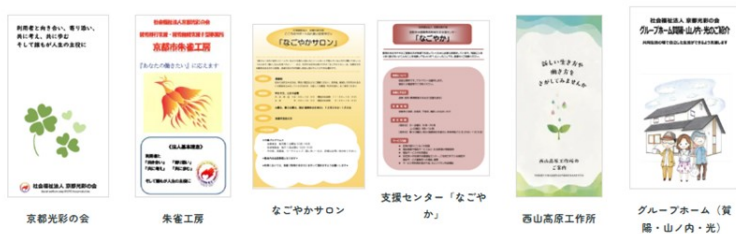
※この画面はパソコンの場合です

各事業所のアップする記事はお知らせ  
から見る事ができます。

## お知らせ

法人・事業所	資料
2024年11月16日 <b>なごやかサロン</b> [12月] なごやかサロンカレンダー	2024年11月16日 <b>なごやかサロンカレンダー</b> [12月] なごやかサロンカレンダー
2024年11月11日 <b>京都光彩の会</b> マンスリー朱雀2024年10月号更新しました!!	2024年11月16日 <b>なごやかサロンカレンダー</b> [11月] なごやかサロンカレンダー
2024年10月28日 <b>京都光彩の会</b> 令和6年度第3回全体研修(防災研修)を実施致しました	2024年11月11日 <b>マンスリー朱雀</b> マンスリー朱雀2024年10月号更新!!
2024年10月28日 <b>朱雀工房</b> マンスリー朱雀2024年9月号アップしました	2024年10月24日 <b>光彩だより</b> 2009年秋号
2024年9月23日 <b>京都光彩の会</b> 令和6年度第2回全体研修(障害者虐待について)実施	2024年10月24日 <b>光彩だより</b> 2011年秋号

## 法人・事業所パンフレット



法人各事業所のパンフ  
レットが見られるように  
になりました。

## 拡大

お知らせ ▾ 事業所 ▾ **資料** 商品のご案内

これまで発行してきた各事業所の  
記事の過去分もここから見るこ  
とができるようになりました。

## 資料ページ

法人について		後援会	お知らせ	事業所	資料	商品のご案内	採用情報
 事業所パンフレット 6 docs Last Updated: 2024年11月1日	 光彩だより 25 docs Last Updated: 2024年11月2日	 なごやかサロンカレンダー 3 docs Last Updated: 2024年11月16日		 びあHAPPINESS通信 11 docs Last Updated: 2024年11月1日			
 マンスリー朱雀 6 docs Last Updated: 2024年11月1日	 第三者評価結果 2 docs Last Updated: 2024年11月1日	 決算書・現況報告書 2 docs Last Updated: 2024年11月1日		 定款 1 doc Last Updated: 2024年11月1日			
 役員名簿 1 doc Last Updated: 2024年11月1日	 かれん工房 20 docs Last Updated: 2024年11月1日						



## 後援会のお礼

京都光彩の会では、『精神障がいのある人たちが、ふつうの市民として、地域で暮らし、働き、社会に参加していくことを支援する』ことを目的に、各事業の運営や計画実施を行っていききたいと思います。

趣旨にご賛同いただき、後援会にご加入いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のお気持ちを受けて職員一同、今年度も事業運営に邁進して参りたいと思います。

また今後も新規に法人の活動にご賛同いただき、ご支援いただける方々のご加入も随時承っておりますので、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。



こちらのQRコードを読み込むと、詳細がご覧いただけます。



## 利用者大募集!!

**就労 移行支援**  
**就労 継続支援B型**

京都市朱雀工房では、上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

### 広報委員会 委員

田中 穂一（支援センター「なごやか」）  
植田 真由（支援センター「なごやか」）  
高橋 恒明（京都市朱雀工房）  
兵井 貴人（西山高原工作所）  
佐々木 瞳（グループホーム 賀陽・山ノ内・光）  
松岡 芽以（グループホーム 賀陽・山ノ内・光）



## 編集後記

光彩だよりをご覧いただきありがとうございます。今年の夏は本当に暑かったですね。昨年暑かったのですが、今年はそれを上回るほどで十一月頃まで夏日が続きました。そうなる衣替えが難しいですね（泣き）最近はずっと寒くなりましたので気温の寒暖差で身体が辛いんです。最近、加湿空気清浄機を買いました。私はこの時期になると喉が痛くなったり咳をしたりするので、空気清浄と加湿を同時に出来る代物で使い始めて喉の乾燥が全く無くなりました。おススメですので是非使ってみてください。

泉でナトリウム質の湯なので、お布団に入る時まで身体がホカホカしていました。その日の夜は快眠して疲れが一瞬でふっとびました（笑）さらに、冬の日本海と言えば蟹！夕食は蟹のフルコースでこの世にこんな美味しい物があるのかと舌が反応していました。こ、これは食べるのは一年に一回くらいにしておいた方がいいですね……。車無しでも楽しめるので皆さんも参考にしてみてくださいね。

今回は当法人の朱雀工房を卒業された方にインタビューを依頼致しました。支援をしている身からすれば立派に羽ばたいて活躍されている様子をお伺いできてとても胸が高まる思いです。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。（兵井）

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



# 社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai, Inc

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の20 COCO・てらす 東館4F

TEL : 075-323-3201 FAX : 075-323-3220  
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより  
発行: 京都光彩の会 広報委員会  
発行責任者: 中條 了  
印刷: 西山高原工作所